



6/4 リモート授業を生徒たちの学習補助に



▲タブレット端末に映し出される授業

福田中学校で、心身の不調のため教室での授業に参加することが難しく別室で学習する生徒を対象に、タブレット端末を使用した授業の生配信によるリモート授業が行われました。

リモート授業を体験した生徒は「これまでになかったやり方で楽しい」「教室で授業を受けている感じがする」と好感触の様子でした。

授業は自宅でも受けることができ、今後臨時休業などが生じた際の学習補助としての利用が期待されています。

6/5 ふわっふわ♪ ヒツジの毛刈り体験



▲真剣な表情でヒツジの毛を刈る長野幼稚園の園児

長野幼稚園の園児たちが、磐田農業高校の先生と一緒にヒツジの毛刈りを体験しました。

園にやってきたヒツジを見て、「大きい!」「さわりたい!」と口々におしゃべりしていた園児たちですが、毛を刈る場面では、先生に手を添えてもらいながら慎重に刈っていました。

園児たちは、さっぱりした様子のヒツジをなでながら、「白くてきれい!」と歓声を上げていました。

今後は、9月に毛洗い、冬には毛を使ったマスコット作りをする予定です。

6/6 彩り豊かなうつわの祭典



▲展示された色鮮やかなうつわたち

磐田市新造形創造館で、展示企画「彩り豊かなうつわの祭典 北川和喜^{きたがわかずき}」が6月6日(土)から28日(日)まで開催されました。北川氏による作品展は、平成30年に続き今回で2回目となります。

会場には、皿・鉢・花器・アクセサリーなど、それぞれ模様や色彩が違う唯一無二の作品、約300点が展示されました。

生活に色彩を取り込み、ふとした時に笑顔になれるような彩り豊かなうつわたちが並ぶ展示となりました。

6/11 目指せ！家族のエコリーダー！



▲自転車発電に取り組む田原小学校の児童たち

田原小学校で、子どもたちが家庭で地球温暖化防止に取り組むプログラム「アース・キッズチャレンジ」のキックオフイベントが行われました。

参加した同校の5年生68人は、自転車発電やごみ分別ゲームに取り組みながら地球温暖化について学び、CO₂を削減するための作戦を立てました。

講師を務めた静岡県地球温暖化防止活動推進センターの宮崎さんは「生活の中で、もったいないと思う無駄な電気を工夫しながら削減し、エコ生活に取り組んでほしい」と話しました。

6/17 美味しいお米に育ってね♪



▲苗を丁寧に植える向笠小学校の児童たち

地域の農家、松野恒介^{こうすけ}さんの協力のもと、向笠小学校の5年生が、田植え体験をしました。

同校では、各学年で食農体験を行っていて、農家の方の努力や農業の大変さを学びながら、「食」への意識を高めています。

児童たちは学校で育てていた苗を使い、苗が一行にそろそろように丁寧に植えていきました。

順調に育つと、秋には稲刈りも予定されています。児童たちは美味しいお米に育つことを楽しみにしていました。

6/20 磐田市で働きたいあなたを徹底サポート！



▲参加者に自社の概要などを説明する採用担当者

ワークピア磐田で「いわたWEB企業説明会」が開催され、県西部をはじめとする企業など17団体が配信し、約80人の学生らが参加しました。

この企業説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止をしながら、県外在住の学生や社会人のUIJターン就職を促進するために初めて企画されました。

各企業の採用担当者は、ウェブ会議アプリ「Zoom」を活用し、画面越しに自社の概要やアピールポイントなどを説明した後、参加者からの質問に答え、交流しました。